

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホームあつたかハウス市来
(ユニット名)	かぜ
所在地 (県・市町村名)	鹿児島県いちき串木野市大里3261-1
記入者名 (管理者)	荻 美知子
記入日	平成 21 年 2 月 1 日

(様式1)

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「ゆっくり、ゆったり、けれどもしっかり」 「あったか地域であったか交流、みんなでつくるあったかの輪」の理念の下で、地域の方々と入居者様、ご家族様との交流を大切にし、実現の為に、入居者のペースに合わせた生活を支援する事を念頭にケアの現場に当たっています。	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝の申し送り時に「理念」を職員一同で唱和しています。又詰所、フロア内でもいつでも意識できるように見やすいところへ掲示し、実践にむけ、職員全員でとりくんでいます。	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	家族会、運営推進会議や、ホームへ来られる地域の方々や、地域行事参加の際にホームの役割を理解して頂ける様にお話したり、ホーム便り等に、あったかハウスの理念を明記し、配布を行い理解していただいております。	
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	隣近所の方や、通りがかりの方々へ気軽に声掛けや挨拶をおこない、散歩の途中に近隣の方が立ち寄られたり、季節の野菜や、お花を持って来ていただける雰囲気作りに努め、一緒に花壇の手入れをしたり、お茶をご一緒し、お話をしています。	
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事に参加をお願いし、又事業所の年間行事に参加して頂けるよう回覧等をお願いし、地域住民との交流が図られています。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	業所での実践内容を踏まえて、地域の様々な研修、会合に関わりながら認知症のケアの啓発に努めています。又、地域独居老人についても災害時等の施設提供、人材育成の貢献として実習生、福祉体験学習等受け入れも積極的に行なっています。	
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービス評価の意義や目的を全職員に伝え、全員で自己評価に取り組むようにしています。外部評価の結果を踏まえ改善計画を作成し、より良いケアを提供していけるように、全員で取り組んでいます。	
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営者、第三者委員（公民館長、民生委員、婦人部長）、家族代表、市役所（包括支援センター）の方々と話し合いを行い、現在取り組んでいる内容等を報告し、意見をもらうようにしています。	
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議を通じ状況報告等協力して頂き、連携強化に取り組み、ホーム独自の機関紙「あったか便り」を制作し市の担当窓口へ届けるようにしています。	
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	対応が必要と思われる利用者が居る場合は、運営者の指示により、説明、アドバイスをを行い支援できる体制が万全に整っています。現在該当者なし。	
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	利用者の状況把握を行い、家族との連携を密に取りながら、高齢者虐待防止法に関する浸透や遵守に向けた取り組みを行っている。現在該当者はないが、勉強会等にて、報道等の情報を活用し、改善策の周知に努めています。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、事業所のケアに関する考え方や取り組み、退去を含めた事業所の対応可能な範囲について説明をおこなっています。利用料金や起こりうるリスク、重度化の対応、医療連携体制の整備等についても、詳しく説明し同意を得ています。	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者様が意見、不満、苦情を伝えやすい雰囲気作りに努め、積極的に聞き取りを行い、入居者様から、意見、要望が出された際、即座に対応出来る体制をとっています。出された意見や要望は運営や日々のケアに生かしています。	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時や、お電話にてホーム内の暮らしぶりや、健康状態、日々の生活についてお話ししたり、お手紙や、ホーム便りにて、日常の様子を知って頂いています。	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会、面会時等、ご意見箱の設置や、常に問いかけ、何でも言ってもらえるような雰囲気作りに留意しています。出された意見、要望等はミーティングで話し合い反映させています。第三者委員についても説明し、理解をいただいています。	
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	運営者と管理者との話合いの機会も充分もたれ、サービスの質の向上に向けた意見交換が行われています。職員には、ミーティング等で、日頃からコミュニケーションが図れるよう、また何でも意見交換ができるよう心がけています。	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者の暮らしが支えられるよう、起床時、就寝時、夜間、入浴等利用者の、状態やペースに合わせたローテーションを組んでいます。又その都度、必要に応じて柔軟に配置を考えています。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動や、離職があっても、利用者が戸惑わない様、利用者一人ひとりに合わせた対応ができるよう、全職員心がけています。	
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修、法人内研修、ホーム内の勉強会の企画など、管理者や、計画作成担当者のみでなく、職員全員が研修、学習できる体制が整っています。	
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他グループホームの見学や、相互研修会での事例検討を通して、事業所外の人材の意見や、経験をケアに生かしています。	
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員の疲労や、ストレスの要因について気を配り、職員同士の人間関係を把握するよう努め、なるべく親睦の場を作り、気分転換を図れる機会を作っています。	
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	運営者も、頻繁に現場に来ており、利用者や過ごしたり、個別職員の業務や悩みを把握している。又職員が向上心を持って働けるよう、職能評価を行っています。	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居希望者、相談時、ご家族様、本人様から十分な情報収集をし、その内容を分析した上で、本人の求めている事や、不安を理解しようと工夫しています。又職員が、本人に受け入れられるような関係作りに、努めています。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご家族様が求めているものを理解し、事業所としては、どのような対応ができるか事前に話し合いをしています。これまでのご家族様のご苦勞や、今までのサービスの利用状況等、これまでの経緯についてゆっくり聞くようにしています。		
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時、本人やご家族の思い、状況等を確認し、改善に向けた支援提案、相談を繰り返す中で信頼関係を築きながら、必要なサービスをつなげる様にしています。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入所時に、利用者自身の、馴染みのある物を持ってきていただいたり、湯のみやお箸等、馴染みの物を使用していただいたり、ホームで用意された食器類についても、家庭的な物を使用しています。ご家族様やそれまで関わった人達に来て頂き、安心感をもっていただくようにしています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者様は人生の先輩であるという事を、職員全員が共有しており、普段から、利用者様に教えてもらう事が多くあります。入居者様と一緒に、いろんな事をしながら、穏やかな生活が出来るような場面作りや、声かけをおこなっています。		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	入居者様の様子や職員の思いを、細かく伝えることで家族と職員の思いが徐々に重なり、本人様と一緒に支える為に、ご家族様と同じような思いで支援していることをお伝えしています。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご家族様の本人様への思い、本人様のご家族様への思いを受け止めて、両者の思いが結びつくような働きかけを心がけています。外出や、外泊で、ご家族様と一緒に過ごすことをおすすめしたり、行事にご家族様をお誘いしながら、よりよい関係の継続に努めています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	お墓参りや温泉等に行かれる入居者様がおられたりと、ひとりひとりの生活習慣を尊重するように心がけ、地域に暮らす知人、友人などに、お手紙やお電話をし、継続的な交流ができるよう支援しています。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	毎日のお茶や食事の時間は職員も一緒に多くの会話を持つようにし、個別に話を聞いたり、相談に乗ったり、皆で楽しく過ごす時間や気の合う入居者様どうしで過ごせる場面作りをするなど、調整役となって支援しています。		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービスの利用が終了された方も、行事に招待したり、遊びに来てもらうなど、継続的な付き合いができるように心がけています。また、ご家族様からの相談にも乗っています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々のかかわりの中で声をかけ、把握に努めています。言葉や表情などからその真意を推し量ったり、それとなく確認するようにしています。意思疎通が困難な方には、ご家族様や、関係者から情報得るようにしています。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に、入居者様、ご家族様としっかりお話をし、十分なアセスメントを行い、どのような生活を送られてこられたのか把握するように努めています。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	入居者様個々の状態を把握し、声掛けなどによりご本人様の意欲を引き出し、できないこと、できることに注目し、その人全体の把握に努めています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	アセスメントを含め、職員全員でカンファレンスを行い、個別性のあるひとりひとりのニーズに合わせた介護計画を作り上げるように努めています。	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎日のモニタリングや、職員の気付きをもとに、状態が変化した際には、見直し以前であっても、担当者会議を開催し、新たな計画を作成しています。	
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日モニタリングを実施し、評価を行い、職員全員が情報を共有し、ケアの実践および計画の見直しに活かしています。	
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療連携も活かし、入居者様、ご家族様の状況、要望に合わせた臨機応変な対応をしています。	
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域の行事や、伝統行事に参加したり、学校関係からの訪問があり、周辺施設からの理解協力が得られる様に取り組んでいます。又消防訓練や、緊急時の為に警察や消防にも協力を依頼しています。	
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	必要に応じて、適切に事業所以外のサービスとつなげるよう、地域のケアマネジャーと連携をとっています。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に包括支援センターの職員が毎回参加してくださっているので、関係が強化されている。周辺情報や支援に関する情報交換、協力関係を築いています。	
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	事業所の協力医の他、利用前からのかかりつけ医での医療を受けられるよう、ご家族様と協力し、入居者様や、ご家族様が希望するかかりつけ医となっています。	
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	定期的に、事業所の協力医療機関の診察を受けており、医師からの助言、指導も受けています。	
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	訪問看護師との契約に基づき、日頃の健康管理や、医療面での相談、助言対応を行っていただいています。介護職員と看護師とは気軽に相談できる関係が出来ており、看護師と医療機関との連携も密に取れる体制が確保されています。	
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時には、本人への支援方法に関する情報、入院連絡表にて、医療機関に提供し、頻繁に職員が見舞う様にしている。又家族とも情報交換しながら、回復状況等、速やかな退院支援に結びつけています。	
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期に対する対応指針を定め、ご家族様、医師、看護師を交えて話し合いを行っている。又状態の変化がある毎に、家族と気持ちの変化や本人の思いに注意を払い、支援につなげています。	
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	入居者様やご家族様の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期を迎えられるように、随時、意志を確認しながら取り組んでいます。又、急変した場合は、すぐ対応して頂けるよう医療機関とも密に連携を図り、対応しています。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>新しい住まいでも、これまでの暮らしの継続性が損なわれないように、これまでの生活環境、支援の内容、注意が必要な点について、情報を提供し、きめ細かい連携を心がけています。</p>	
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>入居者様一人ひとりの尊厳を重んじ、入居者の誇りやプライバシーを損ねない対応や、各々に合わせた言葉遣いや対応を心掛けるよう、ミーティング時全職員に周知しています。</p>	
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>基本的な一日の流れはあるが、一人ひとりの体調に配慮しながら、利用者の希望や選択できる場面を多く作りだせるように、利用者にあわせた声掛けをおこなっています。</p>	
52	<p>○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者の希望や選択できる場面を多く作りだせるように、利用者にあわせた声掛けをおこなっています。</p>	
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>外出、日常の服装や、朝の着替えは、基本的にはご本人様の意向で決めており、職員は見守りや支援が必要な時に手伝うようにしています。委託理容があるが、本人馴染みの理美容院で、希望に合わせたカットや毛染めをしてもらうように、連携をとっています。</p>	
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>職員も一緒に同じテーブルで食事をし、楽しく、ゆったりと食事をしていただいています。個々の好き嫌いや、食事形態等把握し心配りをしています。又入居者様と一緒に準備や食事の後片づけをしています。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	職員は一人ひとりの嗜好物を理解してしており、お酒等については、主治医、ご家族様とのご相談により、時間、量を決め、飲んでいただいています。買い物ツアーを計画し、近くのお店に散歩を兼ね、お買い物を楽しんでいただいています。	
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	入居者様個別の排泄状況を確認、記録し、排泄パターンを理解の上で、トイレ誘導介助を支援しています。又ご本人様の意思を尊重し、自立に向けた支援をおこなっています。	
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴のご希望をお聞きし、状態等を把握して入浴していただいています。入浴を拒否される利用者に対しては、言葉掛けや対応の工夫、チームプレー、ご家族様の協力等得ながら、個別性にも配慮しています。	
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	日々のレクリエーション、行事等へ参加して頂き、日中の活動量を多く取り入れ、安心して眠れる環境づくりにて、夜間の安眠へとつなげています。寝付けない時には一緒に添い寝したり、おしゃべりする等配慮しています。	
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者様の出来る事を把握し、食事の準備や、後片付け、洗濯物の整理や日常生活の中での役割や楽しみ事を、見出せるような場面作りを支援しています。	
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自尊心を重んじ、ご家族様と相談をし、少額を手元に持ってもらったり、ご家族よりおこづかいを預かり、事業所で管理していますが、必要時、買い物と一緒に出かけ、ご本人様に財布をお渡しし、見守りしながら支援しています。	


項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している		
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している		
(4)安心と安全を支える支援			
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる		
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日、定時に健康チェックを行い、記録を残したり、体調や、些細な表情の変化も見逃さないよう早期発見に取り組んでいます。	
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者様の服薬内容、容量がきちんと理解できるように、処方箋を利用者様ごとに整理し、一週間単位で内服は保管されており、職員が内容の把握ができるようにしています。服薬は本人に手渡し、きちんと服用されています。又、服薬後も異常、変化がないか注意を払っています。	
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	入居者様個別の排泄状況の確認と記録をし、排泄パターンを理解した上で、トイレ誘導をおこなっています。飲食物の工夫や、入浴時の腹部のマッサージや、個々に合わせ、身体を動かす機会を適度に設けて、自然排便できるように、支援しています。	
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の見守り、又は介助下で、入居者様の力量に応じて、口腔ケアをおこなっています。毎月歯科医師の訪問診療があり、口腔ケアの重要性や、技術等の指導、助言が行われています。	
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や、水分量の摂取状況を毎日チェック表に記録し、摂取状況に不安等あれば、主治医と相談し、栄養、水分量が一日を通じて確保できるように、支援しています。	
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	マニュアルを作成し、感染対策委員会を設け、毎月のミーティングで、課題を決め、職員全員で研修会を行い、対策に努めています。インフルエンザについては、入居者様、ご家族様に同意をいただき、入居者様、及び職員全員が、予防接種を受けています。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり			
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている		
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かし て、安全かつできるだけ自立した生活が送れる ように工夫している	入居者様の状態に合わせてフローア浴室、トイレ 等、手すりを付け、安全確保と自立への配慮をし ています。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失 敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫してい る	混乱等起こさない様、環境整備に努めています。 状態が変わり、新たに混乱や失敗が生じた場合 は、その都度、職員全員で話し合い、本人の不安 材料を取り除き、力を取り戻せるよう試みていま す。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだ り、活動できるように活かしている	花壇に野菜や、花等植え、入居者様と共に成長を 見守り、朝夕の水かけも一緒に行っています。季 節毎に、バーベキューや、お祭りの舞台として利 用し、入居者様、地域の皆様一緒に楽しんでい だいています。		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目

			回答
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない	①
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない	①
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	①
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	①
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	①
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	①

		項目	回答
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	①
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない	①
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない	①
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない	①
98	職員は、生き活きと働けている	①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない	①
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	①
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない	①

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

常に、「ゆっくり、ゆったり、けれども、しっかり」「あったか地域で、あったか交流、みんなでつくろう、あったかの輪」を念頭に置き、入居者様にご満足いくお世話は勿論の事ですが、事業所としては、ご家族様にも安心していただける様なお世話ができるように、全職員取り組んでいます。家族会等により、ご家族様とのコミュニケーションを図りながら、共に入居者様が当ホームで不安なく過ごしていただけるように配慮しています。又、地域の方々と蜜に連携を取り合い、非常時の対応、協力体制に心がけています。